

池田記念美術館
IKEEDA ART MUSEUM

イケビふれあい通信
2023 春号
No.112

常設展示 スポーツ文化展示室・小泉八雲文学資料室

◆板谷桂舟 天井画展

板谷家は、やまと絵を家芸とした江戸幕府の御用絵師・住吉広守の門人だった板谷慶舟(ひらね)を祖とし、住吉家に次いで御用絵師となりました。今回展示する浦佐毘沙門堂楼門の天井画(飛天図二三面と鳳凰図一面)と板絵額(出山釈迦図一面と十六羅漢図八面)は、板谷家の五代目となる桂舟弘延(ひろのぶ)(一八二〇〜五九)が制作したものです。

楼門は、浦佐村若松屋(関市四郎)の寄進によって天保二年(一八三一)に完成した総檜造りの山門で、南魚沼市の指定文化財となっています。

天井画と板絵額は楼門二階にあり、ほかにも毘沙門天二十八使者像が安置され、その台座には長岡藩第九代藩主で「雨籠」として知



浦佐毘沙門堂楼門

◆イケビの文化講座

待ちわびた春がやってきました。エントランスからの景色も白一色から徐々に土が見えてきて緑が増え始めています。イケビでは、今年度も引き続き文化講座を開催します。まずはエアロヨガ講座です。1クール8回で実施し、第1クールが5月と6月、第2クールが7月と8月の木曜日に行います。美術

進んだ「龍」の彫刻が組み込まれています。今回の展示会は、令和二年度から始まった修復作業が無事完了し、楼門に再設置する前に、寺外で初めて公開するものです。今後数百年、じっくり間近で見られる機会はないでしょう。郷土の貴重な文化財に触れる一生に一度の展示会となります。(高橋良一)

られた牧野忠精(ただしげ)(一七六〇〜一八三二)が進んだ「龍」の彫刻が組み込まれています。今回の展示会は、令和二年度から始まった修復作業が無事完了し、楼門に再設置する前に、寺外で初めて公開するものです。今後数百年、じっくり間近で見られる機会はないでしょう。郷土の貴重な文化財に触れる一生に一度の展示会となります。(高橋良一)



楼門の格天井を飾る板谷桂舟作「飛天図」

館閉館後の午後7時30分から1時間、前半30分はエアロビクスで身体を動かし汗を流した後、後半30分は照明を落とし、落ち着いた雰囲気の中でヨガを行います。

もうひとつの講座が美文字講座になります。大変申し訳ございません。こちらは全て定員に達してしまいました。たくさんのお問合せ、誠にありがとうございました。ご迷惑をおかけしましたが、今後は募集人数等を検討していきたいと思っておりますので、ご案内が出た際にはお早めにご予約をお願いいたします。(山口加奈子)

◆エントランスホールのご利用を!

エントランスホールでは休館日に新潟日報カルチャースクールを開講しています。太極拳、仏像彫刻、ハーモニカの教室です。

美術館から望むパノラマの絶景を見ながら演武(えんぶ)をすると、自然の中で宇宙と一体になり、エネルギーをもらって身体を整えることができる太極拳。昔の人と同じ自然の光の中、理想的な環境での仏像彫刻。窓から移り行く四季を感じながら、季節にあった曲を演奏するハーモニカ。エントランスホールの利用は、先生や生徒さんたちに大変好評をいただいています。

当館自慢のスペースを地域の皆様から大いに活用いただきたいと考えています。ワークショップや講演会、演奏会などにご利用ください。(佐藤良子)

◆春の一箱雪見展・古本市開催!

地元のクラフト作家の作品が並ぶ大人気の「一箱雪見展」をこの春、開催します。36店が出品予定で、アクセサリーなど個性的な手作り品を販売します。ワイン箱を小さな本屋に見立て、古本を販売する「一箱古本市」には20店ほどが出店。同時開催ですので、ぜひお楽しみに!(広田かおり)

春の一箱雪見展・一箱古本市

4月23日(日)~5月14日(日)
会場:美術館エントランスホール

【春の一箱雪見展・出展者】

アクセサリー/Plenum, Kichi, m:plus, ふゆまり, NICORI, こばとや, Moonlight
布・フェルト小物/えとせとら明, なまけ工房, 花羽呼屋, 縁en, 工房とんとん, もふちくや, HOUSE & SEWING JUN'S, Yumiki, ネムリウサギ
手作り洋服/Keiのクローゼット

イラスト/Ululu うるる, タペタペイント
その他雑貨/mari ☆ guma3 (雑貨), やまねこ工房 (こぎん刺し, 一閑張り), miyuco. (アロマ), mo'limit モリミ (動物ストラップ), 魚沼工房 (封筒, はがき), uonuma creation UNO (ドック用品), エンジェライト (数量限定仏像キャッチャー, 仏像ストラップ), マルト書店 (ご朱印帳, ノートなど), きやめろんのリボン (革小物), 1013LAB. (編みバッグ, 編み小物), サンウッド新潟 (木工品), 水曜の会 (小物), すずや (バッグ), やまのはんこや (土器模様のはんこ), Angie & happy place (スマホケース, 雑貨), みい

族 (サンキャッチャー), Riccio (雑貨)
※出展者は変更になる場合があります



※GW無休! 5月3日(水・祝)開館!

① 白象会創立70周年記念 白象展

■～4月16日(日)

魚沼市の絵画団体・白象会の創立70周年記念会員展。会員の代表作や最新作のほか、初代会長の渡辺泰亮氏の作品を展示。会の歴史と現在の活動を紹介します。

② [冬季特別展示]

第6回 錯覚展 2023「杉原教授の不思議な世界」

■～4月16日(日)

錯視研究の第一人者、明大研究特別教授の杉原厚吉先生が制作した「実際とは違うように見える」新作を約50点展示。二科展彫刻部門入選作品も紹介します。

③ [浦佐毘沙門堂楼門天井画修復記念]

板谷桂舟 天井画展

■4月22日(土)～5月28日(日)

江戸時代の幕府御用絵師、板谷桂舟が描いた天井画24面と板絵額9面の修復作業が完了し、もとの場所に戻す前に美術館で一般公開する、またとない展覧会です。

④ 日本版画協会巡回展

■6月3日(土)～7月9日(日)

日本を代表する版画家が結集し、現代版画の発展に貢献する日本版画協会の会員巡回展。第89回版画展に出品された中から厳選した作品約85点を紹介します。

⑤ 第24回 八海山夢展

■7月15日(土)～8月28日(月)

魚沼の美術愛好家を中心に、絵画・書道・写真・水石・工芸の5部門で約100人が作品を発表します。

⑥ [同時開催] 第6回 八海山ジュニア展

■7月15日(土)～8月28日(月)

令和4年度新潟県ジュニア展に入賞した近隣地域(南魚沼市と魚沼市)の児童生徒の作品を展示します。

⑦ 第7回 八色の森の美術展
＋八色の森の子ども絵画展 2023

■9月2日(土)～10月22日(日)

全国各地から現代美術の世界で活躍する作家30人以上

が出品し、地元の子どもの作品と一緒に共同展示する注目の美術展。会期中、作品を媒介にした「哲学対話教室」を実施して、美術館の未来像を提起します。

⑧ 示現会巡回展・新潟県支部展

■10月28日(土)～11月5日(日)

県内にも多くの会員がいる絵画団体・示現会。東京で開催される第76回示現会展の巡回展と新潟県支部展を開催します。会員・会友を中心とした全国巡回の作品と支部会員の作品合わせて約70点を展示。

⑨ 収蔵品展

■11月11日(土)～12月10日(日) または 24日(日)

池田記念美術館の収蔵品のなかからテーマを絞って作品を紹介します。12月に館内のLED化工事を実施する場合、会期は12月10日まで。

⑩ 第68回 南魚沼郡市児童生徒美術展

■1月6日(土)～1月16日(火)

南魚沼市と湯沢町の子どもの作品約400点を展示する展覧会。会期中は入館料を無料にし、イベント(雪見展、古本市)と合わせて開催します。

⑪ 魚沼ベストショット展 Part 13

■1月20日(土)～3月3日(日) または 10日(日)

魚沼の風景や人々をテーマに、地元の写真愛好家を中心に県外も含めて約50人が出展。3月に館内のLED化工事を実施する場合、会期は3月10日まで。

⑫ [冬季特別展示]

第7回 錯覚展 2024「杉原教授の不思議な世界」

■1月20日(土)～3月3日(日) または 10日(日)

錯視研究の第一人者、杉原厚吉先生が制作した作品を新作を中心に展示します。3月に館内のLED化工事を実施する場合、会期は3月10日まで。

⑬ 収蔵品展 (3月にLED化工事がない場合)

■3月9日(土)～3月31日(日)

3月にLED化工事がない場合に限り実施します。池田記念美術館の収蔵品のなかからテーマを絞って作品を紹介します。

